

令和5年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	サイデン化学アリーナさいたま(さいたま市記念総合体育館)
(2)施設概要	①所在地 さいたま市桜区道場4-3-1 ②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。 ③施設の概要 平成15年6月1日開館 建築面積 13,894.53㎡ 建物面積 17,739.75㎡ メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室、温水プール、トレーニング室、 フィットネススタジオ、弓道場、ランニングコース、会議室、研修室 他
(3)指定管理者	スポーツのまち さいたまパートナーズ ※代表企業 コナミスポーツ(株) 構成企業 毎日興業(株)、(株)埼玉新聞社
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ②指定管理料 令和3年度:142,845千円、令和4年度:128,346千円、令和5年度:142,692千円
(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】 197,219件(前年170,214件) 【利用人数】 396,255人(前年382,382人) 【利用率】メインアリーナ:77.5%(79.0%)、サブアリーナ:81.1%(80.6%)、多目的室:65.6%(69.6%) ◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) ②維持管理業務の状況 ・消防設備点検 年2回 ・自家用電気工作物点検 月次・年次 ・大型空調機保守点検 月1回 ・エレベーター保守点検 月1回 ・自動ドア保守点検 年1回 ・事業系一般廃棄物収集運搬業務 週3回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 年1回 ・自動制御設備点検 年1回 ・中央監視装置総合点検 年1回 ・建築設備定期検査 年1回 ・特殊建築物定期調査 3年に1回 ・プール水水質検査 月1回 ・プール濾過設備保守点検 年2回 ・プール可動床保守点検 年1回 ・体育器具保守点検 年1回 ③その他(自主事業等) スポーツ教室(プール教室、空手教室、チアダンス、ヒップホップ、初心者卓球教室、親子体操教室、バレエ教室等)の開催、スポーツフェスティバルの開催、無料開放事業(エンジョイサタデー)の開催

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 89,508千円（前年度 86,000千円） ・指定管理料 142,692千円（前年度 128,346千円） ②支出 ・人件費 101,566千円（前年度 117,687千円） ・事務費 31,529千円（前年度 28,888千円） ・施設管理費 108,442千円（前年度 141,536千円） 【自主事業】 ・収入 29,338千円（前年度 34,747千円） ・支出 16,758千円（前年度 13,622千円）
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	令和5年11月10日～令和5年11月23日に実施した。トレーニングマシンの一部入れ替え、洋式トイレのウォシュレット化やキャッシュレス決済の導入等市民の要望を反映した。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

（指定管理者から提案のあった項目の達成状況）

提案内容	達成状況
年2回イベントを開催することで、市民のスポーツへの関心を高める。	市民の日無料開放デーの実施、無料でバドミントン・卓球・トランポリン等が利用できるよう定員を設けて開催するエンジョイサタデーを4・9・11・1月に実施した。また、埼玉新聞社との連携イベントとしてインドアスポーツ・パラスポーツ体験会を実施し、好評だった。
地域連携事業年7回開催し、施設を利用したことのない方にきっかけづくりを行う。	職場体験学習として6件受け入れを行い、近隣の中学生に公共施設の運営について学ぶ機会を設け、地域連携を図った。またコロナ禍からの復帰として盛大に行われたさくら区民祭りへの責任者実行員参加により実施に貢献した。更に別途、施設周辺のごみ拾いを実施し周辺環境の美化に努めた。
教室開催5,400教室開催し、スポーツ実施する機会の創出を図る。	令和5年5月以降新型コロナウイルスが5類移行したことにより、教室数に限らず利用枠を本数・定員数共に回復させる事にも尽力し、年間5,032教室開催した。
スポーツコミッションと連携をはかる。	年4回（5月・9月・1月・2月）の大会に関連した情報交換を継続実施した。スポーツコミッションとの連携により効果的にイベントが行われ、より多くの市民が施設を活用できた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・トレーニングマシンで人気の高いランニングマシンを2台更新し、さらにコナミスポーツオリジナルのハイスベックエアロバイクを2台導入した。また、初回利用時のオリエンテーションを行う事で目的に合った利用方法の提案を行い利用継続に繋げている。
- ・新型コロナウイルスが5類へ移行したが、引き続き換気やマシンの清潔さに配慮しながら新しい生活様式に対応した。
- ・施設利用者の利便性を向上させるためキャッシュレス決済を導入した。キャッシュレスでの利用が徐々に増化しており、使いやすい環境が提供できたことで今後も利用者増に繋がると考えている。
- ・利用者から要望のあった洋式トイレのウォシュレット化を実施した。

【経費の削減】

- ・昨年度のメインアリーナに引き続きサブアリーナをLED化し、電気使用量を削減した。
- ・館内の冷暖房使用時には外気温・天候に合わせてオン・オフを実施した。また館内各トイレのエアタオルの電源を閉館時にオフにするなど待機電力の削減にも努め、経費節減意識を高めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・5類移行後もトレーニング・受付スタッフを中心にマスク着用を継続し、周辺消毒を引き続き実施した。特に利用者が増加したトレーニングジムについては、巡回スタッフによるマシン消毒を高頻度で実施し、休館日に清掃・メンテナンスを行った。
- ・CPR&AEDのライセンスを全てのスタッフが年度内に取得できる様に認定会を実施し、安全な環境を提供した。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B)

1 個別評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

- ・ノルディックウォーキングや車いすバスケ体験などのイベントを開催し、市民利用の促進を図った。
- ・市民からの要望が多かった洋式トイレのウォシュレット化やキャッシュレス決済の導入を行い、市民サービス向上に努めた。

【経費の削減】

- ・円滑で無駄のない予算執行を心がけ、サブアリーナのLED化の実施や未使用施設の消灯を徹底するなど節電努力により、引き続き電気料金削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後もトレーニングマシンを高頻度で消毒を実施するなど感染拡大防止に努めた。
- ・協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。

2 総合評価

- ・インドアスポーツやパラスポーツのイベントを開催するなどして、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。
- ・他施設、他自治体での指定管理者経験を生かし、適正な施設管理が行われた。施設の整備を積極的に行い、施設の安全性の確保、設備の保全に努めた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認